

平成23年度 徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況

平成23年9月に策定した「徳島東部地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき、徳島東部圏域12市町村が役割を分担し、協力関係を一層強め、圏域の将来像「ひとをつくり・地域を興し・未来につなぐ みんなで暮らし続ける魅力ある共創交流圏」の実現に向けて、地域を担う人材の育成や観光・産業振興等の活力あふれる地域づくりなど、さまざまな連携施策について取り組んでいる。

【徳島東部圏域12市町村】

徳島市（中心市）、小松島市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町



1 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

① 地域医療の連携

事業名	徳島市民病院との連携強化事業
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町
事業内容	徳島市民病院を核とした圏域内の自治体病院との医療連携の構築を図るとともに、地域医療向上のため、地域の医療従事者に対する教育と研修に努める。

【平成23年度の取組】

○紹介患者に対する医療の提供として、徳島市民病院において勝浦病院、上勝診療所から紹介を受けた患者を治療

〔患者数〕勝浦病院から3名、上勝診療所から3名

○医療従事者への研修として、徳島市民病院研修医の臨床研修を勝浦病院で実施するとともに、徳島市民病院の認定看護師を講師として勝浦病院に派遣し「感染管理合同研修会」を開催

〔参加人数〕32人



感染管理合同研修会

【平成24年度の取組】

○紹介患者に対する医療の提供として、徳島市民病院において勝浦病院、上勝診療所から紹介を受けた患者を治療

〔患者数〕上勝診療所から1名（平成24年6月末時点）

○医療従事者への研修として、徳島市民病院又は勝浦病院の看護師等を連携施設に講師として派遣し、講演会や症例検討会を開催

(2) 福祉

① 子育て環境の充実

事業名	病児・病後児保育事業
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・佐那河内村・石井町
事業内容	圏域内住民に対する子育て支援の充実を図るため、連携市町村が実施する病児保育事業について、病児・病後児（おおむね10歳未満の急性期を経過した病中病後の児童）の広域利用を可能にする。

【平成23年度の取組】

○病児・病後児保育事業の広域利用に向けて担当者部会を3回開催し、具体的な運営方法等を検討

【平成24年度の取組】

○広報用リーフレットを1万部作成し、市立・私立保育所及び事業実施施設等で配布を行うほか、連携市町村の広報紙やホームページ等広報媒体を積極的に活用して、広域化を周知

○平成24年4月から連携市町村住民を対象に病児・病後児保育事業の広域利用を開始

- ・藤岡クリニック（徳島市昭和町）
- ・田山チャイルドクリニック（徳島市北矢三町）
- ・愛育小児科（徳島市国府町桜間）
- ・えもとこどもクリニック（徳島市北沖洲）
- ・徳島赤十字乳児院（小松島市中田町字新開）
- ・伊勢内科小児科（石井町石井）



徳島市ホームページ

（平成24年6月末現在）

	利用者数 (人)	居住地別				
		徳島市民	小松島市民	勝浦町民	佐那河内村民	石井町民
徳島市内4施設	693	677				16
小松島市内1施設	40	13	22			5
石井町内1施設	217	45				172
合計	950	735	22			193

(3) 教育

① 公共施設の広域利用

事業名	圏域内図書館相互利用事業
連携市町村	徳島市・石井町・北島町
事業内容	連携市町村の個人利用に限定した「利用者カード」を発行し、圏域内の連携市町村立公立図書館の相互利用を実施する。

【平成23年度の取組】

- 図書館相互利用に向けて担当者会議を2回開催し、利用方法等を協議
- 図書館相互利用に関する協定を連携市町間で締結

【平成24年度の取組】

- 平成24年4月から連携市町住民を対象に、徳島市立図書館及び北島町立図書館の相互利用を開始

(平成24年6月末現在)

徳島市立図書館全体	合計	4月	5月	6月
来館者数 (人)	195,311	78,425	64,423	52,463
新規登録者数(人)	6,616	3,702	1,748	1,166
貸出冊数 (冊)	249,675	86,333	81,536	81,806

(平成24年6月末現在)

	新規登録者 (人)	居住地別		
		徳島市民	北島町民	石井町民
徳島市立図書館	347	—	171	176
北島町立図書館	174	163	—	11

※北島町立図書館の集計期間は平成24年4月1日～7月17日



徳島市立図書館 5階



徳島市立図書館 6階

(4) 産業振興

① 圏域内の観光資源を生かした観光開発、観光誘致

事業名	観光開発・観光誘致事業
連携市町村	全市町村
事業内容	圏域市町村が有する自然や歴史・文化など、さまざまな観光資源を発掘して魅力向上を図ることで圏域での観光エリアを形成し、宿泊、体験観光、地元食材を生かしたグルメなどの体験観光による長期滞在型観光を実施するとともに、さまざまな観光資源、イベント等の情報発信・PRを一体的に行い、関連産業の拡大や観光消費の活性化を図り、圏域内外での交流人口を拡大する。

【平成23年度の取組】

- 観光資源や観光ルートの造成を図ることを目的に連携市町村職員、関係団体等が参加した着地型観光の造成に関する研修を実施 [実施期間] 3日間 [参加人数] 延べ64人
- 徳島東部地域体験観光市町村連絡協議会の略称を「とくしま旅づくりネット」とし、その記念イベントとしてアンケート回答者の中から抽選により35名に宿泊券や特産品等をプレゼント
- 連携市町村の観光情報を集約した圏域内の観光ルートマップを作成し、各種イベントや圏域内外の施設等で配付 [作成部数] 1万部
- 平成23年11月12・13日に淡路サービスエリア、愛知県刈谷サービスエリア及び2011市場まつり（名古屋中央卸売市場）で共同観光キャンペーンを実施し、阿波おどり連による観光PRを行うとともに、観光パンフレット等を配付
[参加人数] 連携市町村13人、阿波おどり連25人、阿波おどり大使1人
- 徳島駅前連携市町村の観光案内や物産販売等を行う拠点施設として、広域観光案内ステーションを整備
- 電動バイク、電動アシスト付自転車を徳島駅前貸し出し、市内観光や連携市町村への移動手段として活用
- 電動アシスト付自転車を活用したレンタサイクルツアーを実施し、レンタサイクルの活用推進と圏域内の観光PRを実施
- 連携市町村による観光開発・観光誘致事業を実施



共同観光キャンペーン【淡路SA】



レンタサイクルツアー

【平成24年度の取組】

- 徳島東部地域体験観光市町村連絡協議会において、連携市町村の観光情報を集約した圏域内観光パンフレットを作成し、各種イベントや圏域内外の施設等で配付
- 連携市町村が県外で共同観光キャンペーンを実施し、阿波おどり連による観光PRを行うとともに、観光パンフレット等を配付
- 徳島東部地域の「施設」「食」「文化・歴史」等を紹介するDVDやホームページの製作により情報発信を行うとともに、キャラクターグッズ等を活用した観光PRを実施
- 連携市町村の親子を対象とし、徳島ならではの「食」「歴史」「農業・漁業」等の体験型観光ツアーを実施
- 広域的な観光情報の発信や物産案内の拠点施設として、徳島市元町1丁目アミコビルに徳島東部広域観光・物産案内拠点施設「とくしま旅づくりネット」を4月20日にオープンし、連携市町村の観光案内や物産販売等を行うとともに、積極的な情報発信を実施
- 電動バイク、電動アシスト付自転車を徳島駅前で貸し出し、市内観光や連携市町村への移動手段として活用するとともに、電動アシスト付自転車を活用したレンタサイクルツアーを実施
- 連携市町村による観光開発・観光誘致事業を実施



広域観光案内ステーション



観光キャンペーン

② 地域特産品を生かしたブランド化及び地産地消の推進

事業名	特産品ブランド化・地産地消推進事業
連携市町村	全市町村
事業内容	圏域内の観光案内や物産販売等を目的とする拠点施設において、農産物加工品等の販売やPRを推進するとともに、「とくしまIPPIN店」認定店の圏域内拡大、「とくしま食材フェア」の共同実施、圏域内の関係団体との交流などについて、圏域全体で連携して取り組む。

【平成23年度の取組】

- 平成23年6月に徳島駅前アミコビル地下1階にアンテナショップを開設し、農産物加工品の展示販売を行ったほか、農産物の魅力を紹介するホームページを開設

【平成23年度の取組（つづき）】

- 平成23年5月、8月、11月の3回、アミコデッキにおいて農産物PRイベントを開催し、神山町・勝浦町の協力を得て農産物などの展示販売を実施
- 地元産食材を使ったメニューを提供する「とくしまIPPIN店」を認定し、食材の魅力だけではなく、消費者に一品料理として新しい発見をしてもらうことを目的として広報媒体によるPR活動を実施
- 平成24年度からの対象区域拡大に向けて、連携市町村の「とくしまIPPIN店」候補店調査を実施
- 平成23年11月に、アミコ2階デッキにおいて「とくしま食材フェア2011」を開催し、JA青壮年部、米穀協会、とくしまIPPIN店、佐那河内村及び上板町等19ブースが出店して地元産食材や特産品の販売・試食を実施
 [入り込み客数] 延べ1万2千人



とくしま食材フェア2011

- 連携市町村による特産品ブランド化・地産地消推進事業を実施

【平成24年度の取組】

- 広域観光案内ステーション内において、連携市町村の農産物加工品などを含む特産品のPR及び販売を行うほか、観光情報に特産品情報を盛り込んだリーフレットを3万部作成・配布するとともに季節毎にPRイベントを開催
- 地元産食材を使ったメニューを提供する「とくしまIPPIN店」認定の対象区域を連携市町村に拡大するとともに、内容をより充実させ、使用食材等の情報収集及び広報媒体によるPR活動を実施



特産品紹介リーフレット

- 平成24年11月17日・18日に藍場浜公園において「食材フェア2012」を共同開催
- 連携市町村による特産品ブランド化・地産地消推進事業を推進

③ 地域資源や企業等の技術を活用した産業の育成

事業名	コミュニティビジネス起業支援事業
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町
事業内容	地域産業の活性化を図るため、コミュニティビジネスの普及啓発、コミュニティビジネスに対する起業支援や経営支援等の検討、圏域内連携による起業情報提供（ホームページ等）を行う。

【平成23年度の取組】

○コミュニティビジネスの起業を目指している人を対象にしたコミュニティビジネス創業セミナーを11月から12月にかけて開催（5回連続講座）



コミュニティビジネス創業セミナー

【平成24年度の取組】

○コミュニティビジネスの起業を目指している人を対象にしたコミュニティビジネス創業セミナーを11月から12月の間に開催（5回連続講座）

④ 圏域内への企業誘致の推進

事業名	企業誘致活動推進事業
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・板野町
事業内容	効果的な企業誘致活動ができるよう、徳島県や地元企業とのネットワークを新たに構築し、活用するとともに、新たに立地を求める企業が情報収集し易い環境整備を図るため、企業目線で連携市町村のホームページを整備し、利便性・満足度の向上を図る。

【平成23年度の取組】

○担当者部会を10月に開催し、連携市町の企業誘致ホームページについて意見交換
 ○平成24年3月から連携市町の企業誘致ホームページの相互リンクを実施



企業誘致ホームページ

【平成24年度の取組】

○徳島県や関係市町との連携を強化するとともに、徳島県の担当職員等を講師に招いての勉強会を開催

⑤ 中心市街地の都市機能の充実

事業名	中心市街地都市機能整備事業
連携市町村	全市町村
事業内容	中心市街地のにぎわいや回遊性を高めるため、徳島市の成長戦略の柱である「地域産業の拡大」「都市中心部の魅力の向上」「定住人口の維持拡大」に関連するさまざまな事業を実施し、観光・産業の振興を主とした都市機能の強化を図ることで、人々がいつも訪れ、居住する人々が増え、新たな雇用を生み出していく中心市街地づくりを推進する。
【平成23年度の取組】	
○中心市街地の都市機能の整備を図るため、徳島市の中心市街地複合施設整備（アニメ映画館）を補助し、平成24年3月に完成	
【平成24年度の取組】	
○中心市街地都市機能整備事業として、新町橋（上流部）のLED景観整備を実施	

⑥ 鳥獣害対策の推進

事業名	鳥獣害対策推進事業
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・板野町・上板町
事業内容	圏域内の市町村、地区猟友会、農協など関係団体での情報共有を図るとともに、圏域内市町村が連携して広域的に鳥獣害対策を推進する。
【平成23年度の取組】	
○鳥獣害対策推進事業として、担当者部会を10月に開催し、鳥獣害対策に関する情報交換や情報収集、連絡調整を実施	
【平成24年度の取組】	
○鳥獣害対策推進事業として、連携市町村との情報交換や情報収集を行うとともに、地域の実情にあった鳥獣被害防止対策を実施	

(5) その他

① 環境保全活動の推進

事業名	地球温暖化対策推進事業
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町

事業内容	圏域内市町村が連携して地球温暖化対策に取り組むことにより、圏域内の住民、事業者、行政が行う温暖化防止活動の取り組み拡大を図る。
<p>【平成23年度の取組】</p> <p>○徳島市が作成した「こどもエコチャレンジノート」を活用して、連携市町立小学校において環境学習を実施 [受講者] 連携市町立小学校7校の4年生 約730名</p> <p>○連携市町による地球温暖化対策推進事業を実施</p>	
<p>【平成24年度の取組】</p> <p>○ノーマイカーデー、ライトダウンを実施</p> <p>○連携市町における環境の取組などを新たに掲載した「こどもエコチャレンジノート」を約5,300部作成し、連携市町立小学校4年生から6年生の児童を対象に環境学習を実施</p> <p>○エコアクション21認証取得支援として、連携市町内の企業を対象に平成24年6月にエコアクション21の説明会を開催し、8月から平成25年1月にかけて計5回のセミナーを開催</p> <p>○連携市町による地球温暖化対策推進事業を実施</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>こどもエコチャレンジノート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>エコアクション21説明会</p> </div> </div>	

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 道路等の交通インフラの整備

① 圏域内外を結ぶ道路網の整備促進等の連携

事業名	圏域道路網整備促進等事業
連携市町村	全市町村
事業内容	圏域市町村が連携して、圏域内外を結ぶ主要幹線道路等の国・県への共同要望や市町村界に係る市町村道路改良の情報交換を実施する。
<p>【平成23年度の取組】</p> <p>○国・県への共同要望活動に向け、担当者部会を11月に開催し、要望箇所や要望方法等についての協議や市町村界に係る道路整備推進のための情報交換を実施</p> <p>○連携市町村による圏域道路網整備促進等事業を実施</p>	

【平成24年度の取組】

- 圏域道路整備促進のための国・県への共同要望活動を実施
- 担当者部会を開催し、市町村界に係る道路整備推進のための情報交換を実施
- 連携市町村による圏域道路網整備促進等事業を実施

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進**① 文化・スポーツ交流の推進**

事業名	スポーツ大会共同開催事業
連携市町村	徳島市・小松島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町
事業内容	圏域内でのニュースポーツの普及・活動支援のため、圏域内市町村が連携して、新たに「徳島東部地域ニュースポーツフェスティバル」を共同開催する。

【平成23年度の取組】

- 担当者部会を10月に開催し、スポーツ大会の共同開催に向けて実施種目と運営体制等について協議し、実施種目をパークゴルフとカローリングの2種目に決定するとともに、運営体制は実行委員会を組織することを決定



パークゴルフ場(藍住町河川敷運動公園)



カローリング

【平成24年度の取組】

- 平成25年度からのスポーツ大会共同開催に向けて実行委員会の開催や実施種目に係る備品等の購入、案内チラシの印刷等の事前準備を実施

② 就農支援体制の連携強化

事業名	就農支援体制連携強化事業
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・藍住町・板野町・上板町
事業内容	圏域内外の就農希望者や意欲ある農業者に対し、農地活用情報・耕作放棄地をデータ化し、情報発信するとともに、耕作放棄地再生利用対策の取組状況の周知や新規就農希望者に対して農業体験事業を共同実施する。

【平成23年度の取組】

○農業に関心が高く農業就労に意欲のある人や農業を始めたい人を対象に、農業に関する基礎知識と栽培技術習得のための農業基礎学習講義及び野菜栽培技術実習を実施

[受講人数]12人

○連携市町村による就農支援体制連携強化事業を実施



野菜栽培技術実習

【平成24年度の取組】

○市民ファーマー育成事業の受講対象者を連携市町村に拡大して、農業基礎学習の講義及び野菜栽培技術実習を実施

[受講人数]15人（徳島市11人、小松島市3人、石井町1人）

○連携市町村による就農支援体制連携強化事業を実施

③ 移住・長期滞在の推進

事業名	移住・長期滞在推進事業
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・神山町
事業内容	中心市が持つ都市機能の魅力と、周辺市町村が持つ環境や地域コミュニティなどの農山地の魅力を活用した情報発信方法の研究を行い、徳島県、とくしまふるさと回帰推進協議会及び観光関係団体等と連携して、移住及び長期滞在地としての魅力を都市圏に向け情報発信する。

【平成23年度の取組】

○移住希望者等に対して広域的なPRを行うことができるよう連携市町村の地域資源に関する情報交換を行うとともに、連携市町村の都市機能及び農山地の魅力向上のために地域性を生かした魅力の再発見、再確認を実施

○連携市町村による移住・長期滞在推進事業を実施

【平成24年度の取組】

○移住希望者等に対して効果的、広域的なPRを行うことができるよう地域資源に関する情報交換を行うとともに、連携市町村の都市機能及び農山地の魅力向上のために地域性を生かした魅力の再発見、再確認を実施

○連携市町村が持つ魅力を活用した情報発信方法を研究

○連携市町村による移住・長期滞在推進事業を実施

(3) その他

① 情報システムの共同研究

事業名	情報システム共同研究事業
連携市町村	徳島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町
事業内容	圏域内市町村が連携して情報システムに関する課題や問題点などについて情報交換し、対応策について協議するとともに、今後の自治体クラウド導入に対してのメリット・デメリット、各業務におけるその有効性等についての情報交換や研究を行う。
【平成23年度の取組】 ○平成22年度自治体クラウド開発実証事業概要と実証実験の内容について連携市町で情報共有を図るとともに、それぞれの情報システムの導入状況について情報交換を実施	
【平成24年度の取組】 ○住民データのバックアップについて連携市町の対応方法やアイデアを持ち寄り、常に最適なバックアップ方法を検討 ○連携市町による情報システム共同研究事業を実施	

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 宣言中心市等における人材の育成

① 圏域内市町村職員の人材育成

事業名	圏域内市町村職員人材育成事業
連携市町村	全市町村
事業内容	圏域自治体職員の意識改革と資質の向上を図るため、圏域内市町村が連携して合同研修会を開催する。
【平成23年度の取組】 ○「意識改革講座Ⅰ」（平成23年6月29日、徳島市役所13階大会議室） 講師：ピスタワークス研究所 代表取締役 大原光秦 氏 内容：「最高の能力発揮を引き出す現場のつくり方」 [参加人数] 66人（うち周辺市町村23人） ○「意識改革講座Ⅱ」（平成23年8月3日、徳島市役所13階大会議室） 講師：帝塚山大学 教授 中川幾郎 氏 内容：「分権時代の自治体改革のあり方」 [参加人数] 260人（うち周辺市町村14人）	

【平成24年度の取組】

- 「防災対策講演会」（平成24年7月12日、徳島市役所13階大会議室）
講 師：関西大学理事・社会安全学部長
 阪神・淡路大震災記念 人と未来防災センター長 河田恵昭 氏
内 容：「迫りくる巨大災害と自治体職員としての役割」
 [参加人数] 113人（うち周辺市町村18人）
- 「防災対策研修」（開催時期未定、勝浦町役場）
- 「持続可能な地域づくりを实践のための研修」（実施時期未定、上勝町役場）

(2) 宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保**① 外部からの人材の確保**

事業名	外部人材共同招へい事業
連携市町村	全市町村
事業内容	専門的な知識や経験、実績、新しい発想などに優れた外部の人材を共同招へいして活用することにより、地域資源の発掘、新たな産業振興や人材育成など、各連携分野で専門的見地から助言や支援を求め、圏域の活性化を図る。

【平成23年度の取組】

- 連携市町村において外部人材の活用について意見交換を実施

【平成24年度の取組予定】

- 連携市町村において外部人材の活用を検討
- 徳島市、佐那河内村、松茂町において外部人材の活用による産業振興や人材育成を実施

(3) その他**① 圏域内市町村の行政運営機能の強化**

事業名	行政運営に関する研究会開催事業
連携市町村	全市町村
事業内容	連携市町村で「行政運営に関する研究会」を開催し、自治体をマネジメントしていく上で共通課題として重要度の高いテーマを研究することにより、自治体運営機能の強化及び圏域自治体間の連携強化を図る。

【平成23年度の取組】

- 行政運営に関する研究会の発足に向けて、人材育成や地方分権など自治体をマネジメントしていく上で共通課題として重要度の高いテーマを研究・検討

【平成24年度の取組】

- 自治体をマネジメントしていく上で共通課題として重要度の高い3テーマを選定し、連携市町村及び担当部署と連携して、平成24年7月から11月の間で行政運営に関する研究会を開催
- 【テーマ①】「地震災害対応、防災関連」
 - 「防災対策講演会」（平成24年7月12日、徳島市役所13階大会議室）
 - 「圏域内市町村職員人材育成事業」との職員合同研修会として開催
 - 講師：関西大学理事・社会安全学部長
阪神・淡路大震災記念 人と未来防災センター長 河田恵昭 氏
 - 内容：「迫りくる巨大災害と自治体職員としての役割」
 - 【参加人数】20人（うち周辺市町村18人）
- 【テーマ②】「地域主権改革一括法施行に伴う対応」
- 【テーマ③】「業務改善運動」

② 地域づくり活動の育成・支援

事業名	地域づくり活動団体等育成・支援事業
連携市町村	全市町村
事業内容	徳島市市民活力開発センター等において、地域づくり活動に関するセミナー、講座等を開催し、地域住民をけん引できる人材を養成する。また、圏域内外に情報発信し、他のNPO等の団体や個人とのネットワークの構築を図るとともに、行政・企業との協働を推進する。

【平成23年度の取組】

- 担当者部会を開催し、徳島市市民活力開発センター機能についての説明と、今後の事業について意見交換を実施
- 連携市町村に徳島市市民活力開発センターの利用を周知（広報誌等への掲載）
- 連携市町村の任意団体の法人化を支援

【平成24年度の取組】

- 圏域内NPOに対するヒアリングによる支援ニーズ調査
徳島市のNPO法人と佐那河内村の地域団体の連携をコーディネートし、平成24年8月に佐那河内村で子ども向けサマーキャンプを実施予定
- 団体設立支援（法人化支援など）
連携市町村の住民の要望を受け、地域課題に関する勉強会や団体設立相談を実施
- センター機能の広域利用（会議室・機材貸し出し、情報提供、広報支援など）
センター広報紙及び利用パンフレットを連携市町村に設置
- 各種講座・勉強会の開催（改正NPO法に伴う認定NPO法人制度の活用促進など）
- NPOの相互研鑽の機会創出（交流会開催、同分野で活躍するNPOの紹介など）
- 各市町村へのヒアリング及び支援ニーズに合った事業の企画